

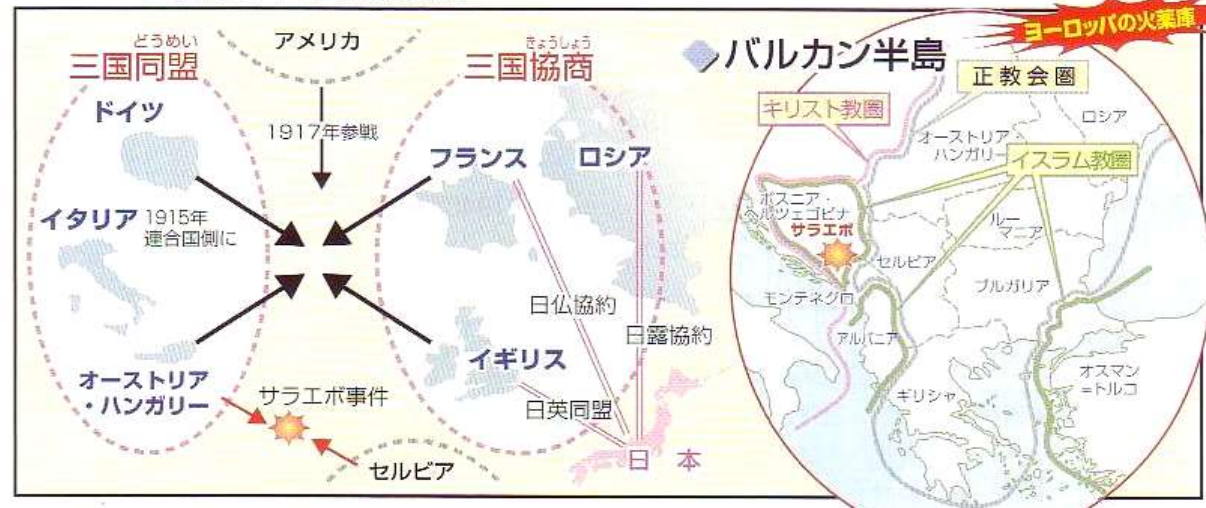
① 第一次世界大戦

課題 第一次世界大戦はどのようにして起こり、日本はどのように関わったのだろうか。

1 第一次世界大戦

第一次世界大戦前の緊張した国際関係

第一次世界大戦前、ドイツ・オーストリア・イタリアは三国同盟を結び、イギリス・フランス・ロシアは三国協商を成立させていた。バルカン半島では、宗教の異なる民族が混在、民族間の対立が続いていた。さらにアジア進出をねらうヨーロッパ列強の利害がからみ、いつ戦争が始まってもおかしくない状況であった。



◆第一次世界大戦で使用された兵器

新兵器と塹壕戦（ざんごうせん） 第一次世界大戦は、それまでにない大規模な戦争で、毒ガス・戦車・飛行機・潜水艦などの新兵器が使われました。最前線には長い塹壕（ざんごう）がほられ、兵士が待機しました。主戦場になったヨーロッパでは多数の犠牲者が出ました。

【A】



【B】



【C】



【D】



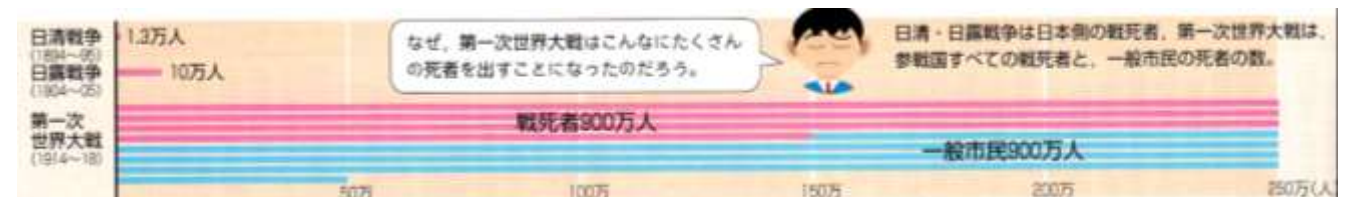
・19世紀末の欧米諸国は、地球上の至る所で植民地を広げ、アジアに続いてアフリカや太平洋地域の大半も植民地化されました。こうして欧米諸国が世界を支配した一方でヨーロッパの中では対立がありました。

・19世紀末にドイツが強国として台頭すると、フランスとロシアは同盟を結んで対抗しました。イギリスはロシアの東アジアへの進出を警戒して日英同盟を結びましたが、ロシアが日露戦争に負けると、ロシアと協商を結んで関係を改善しました。イギリスはフランスとも協商を結び、(1) が成立しました。一方ドイツはオーストリアと同盟関係にあり、さらにイタリアも加わって(2) が結ばれました。20世紀始めのヨーロッパの国際関係は(3)「 」と呼ばれる緊張が続いていました。

・こうした列強の間に民族対立が加わり、バルカン半島は(4)「 」とよばれていました。1914年オーストリアの皇太子夫妻がサラエボでセルビア人に暗殺されました。オーストリアはセルビアに宣戦布告し、間もなく各国も参戦して同盟国と連合国(協商国)とに分かれて(5) が始まりました。日本は日英同盟によって連合国側で参戦し、1917年にはアメリカも連合国側に加わると戦争は世界中を巻き込み4年余り続きました。

◆第一次世界大戦の結果

・アメリカの参戦によって、連合国側が優勢になり、1918年に第一次世界大戦は終わりました。この戦争では新兵器が使用され、死傷者はばく大な数に上り、各地に大きな被害を出しました。特にヨーロッパでは、大量の兵士と物資を前線に送るため、各国が国民、経済、資源や科学技術を総動員して国力を使い果たす(6) となりました。総力戦には、労働者や女性、さらに植民地の人々も貢献したため、戦後には、こうした人々の要求が無視できなくなりました。



まとめ

-----

-----

-----

-----